



緊急速報

5月1日付で瀬戸口特任助教が畜産資源学分野に就任しました。瀬戸口先生からのご挨拶(P2)もご覧ください。

新入生歓迎会

4月と言えば、歓迎会シーズンですね。今年は4月の始めに学部資源生物科学科新入生歓迎会があり、4月10日(水)には毎年恒例の応用生物科学専攻の新入院生歓迎会が旧演習林の枝垂桜の下で開催されました。応用生物科学専攻の教員、事務職員さん、学生さんたちが一斉に集う貴重な機会です。お酒も沢山振舞われて、気持ちも体も暖かくなりました。恒例の研究室紹介、畜産資源学分野はいつも最後の方なので、いつも通りみんなだいぶ出来上がっていました。その後は、畜資で2次会&麻雀大会。生殖生物学分野、動物遺伝育種学分野の皆さんも合流して「昔の畜資に戻りたい」という声も聞かれました。



目次:

畜産資源学分野メンバーのご紹介③ 2

瀬戸口先生からの特定助教着任のご挨拶 2

昨年度の総評と今年度の抱負 3-4

谷牧場へ行ってきました 5

たまたまたべたの? 5

お知らせ 6

そして、4月も押し迫った頃に、畜産資源の新入生歓迎会が懐かしの「おむら家」で開催されました。熊谷先生の乾杯で幕を切った歓迎会、新4年生の自己紹介では出身地からアルバイト情報、彼女の有無まで根掘り葉掘り…食べ物は、色々なおばんざいと締めのおムライスでみんな大満足でした。90分で飲み放題を終えた後、新4年生から「めっちゃ麻雀したいっす!」の声が…研究室に戻ってここでも2次会&麻雀大会。「やべえ、研究室楽しい!」という声が上がって、大成功の歓迎会となりました。(よ)



畜産資源学分野メンバーのご紹介③

①名前②学年③あだ名④出身地⑤出身高校（大学）⑥特技⑦好きなもの⑧嫌いなもの⑨研究テーマ⑩ひとこと

①岩井宏平

②4回生

③岩井

④埼玉県

⑤埼玉県立春日
部高校

⑦ネスカフェエ
クセラボトル
コーヒー無糖

⑧連日の雨

⑩よろしくおねがいします！



①菊地元登

②4回生

③げんと

④東京都

⑤桐朋高校

⑥掃除、大胸筋を動かせる

⑦睡眠、ゲーム、ドライブ

⑧早起き、雨の日

⑨未定

⑩地面の方の菊地です。単位が圧倒的に足りていません。不束者ですが、末永くよろしくお願いいたします。



①田中壮太郎

②4

③部活ではバズーと呼ばれています。

④兵庫県神戸市

⑤須磨学園→鹿島学園

⑥寝ること

⑦ビビンバ

⑧バナナ（克服しかけている）

⑩ほどほどに頑張ります！



瀬戸口先生からの特定助教着任のご挨拶

今までやってきたLCAを含めた生産システムのシミュレーションをメインとして、最近研究室に導入された高性能なPCを使って機械学習なども行えたらと考えております。プログラムはある程度書けるのでPC周りのお手伝いもできればと思います。引き続きよろしくお願いします。

昨年度の総評と今年度の抱負

熊谷 元 准教授

昨年度の総評

試験の遂行(6件)、研究会の開催、報告書の締め切りなど、直面する課題に追いつけられませんでした。各々の課題に深くコミットできなかったり、試験の成果を論文化することが遅れ遅れになった1年間でした。

今年度の抱負

時間の許す限り、研究で得られたデータをディスカッションする機会を増やしたいと思います。そのうえでデータを論文化していきたいと思います。とはいえ、日畜大会(9月)、肉用牛研究会(10月)、畜産システム研究会(10月)の運営で忙しいなあ……



大石 風人 准教授

ご挨拶 ～Goat Bulletin復刊ということで～

こんにちは、大石です。ようさんの渡米後 Goat Bulletinは60号をもって休刊となり、またほんの一時期ヤギも不在となっていました。昨春に小さなヤギたちが来てくれ、今年度より13年ぶり(臨時号を除く)にGoat Bulletinの刊行が再開されたということで、ここで簡単に挨拶を述べたいと思います。

まずは昨年のごこととして、廣岡先生、すでにGoat Bulletinの記念号として掲載されていますが、改めましてお疲れさまでした。長い間、いろいろな事がありましたが、本当にありがとうございました。とは言っても、現在も幾つかのプロジェクト等に参画され研究を継続されていますし、これからもよろしくお願いします。

さて、例年同様3月末に修士修了 & 旅立ちがあり、4月からは新たに4回生が研究室に入ってくれましたが、スタッフメンバーは廣岡先生のご退官という大きな変化以外には変化はありませんでした。いろいろな時期の卒業生から研究室的スタッフがどうなるのだろうか気になっていたという話を聞きましたが、ご覧の通り、一部職位は変わりましたがスタッフ自体はそのままです。新たな息吹が吹き込まれるとはなりませんが、一方で、培ってきたスタッフ同士の目的意識の共有と連携は強固なものと思っています。そのため、これまでの畜産資源学研究室の流れを継続した研究を軸に、また新たな研究テーマも加えつつ、さらなる展開を目指していきたいと思います。その中で意識していることとして、これまで同様、研究室メンバーそれぞれのオリジナリティ溢れる探求心を大切にしながら、お互いで助けあい、また刺激あって、一体感を持って研究を遂行できる環境を構築していきたいと思います。

なお今年は、9月に日本畜産学会第132回大会がこの京都大学で開催されます。本大会は日本畜産学会創立100周年を記念する大会ということで、大正末期より長い歴史の中で脈々と畜産の研究が続けられてきたことを実感します。同時に、100年という期間において家畜生産の形やあり方、畜産学自体の捉え方が大きく変容してきたことから、“畜産”資源学分野として今後もますます多様な観点で研究を展開することが重要になるだろうと感じます。そのためにも、研究室の皆さん、多彩なアイデアを創出し、またあらゆるアプローチを駆使して、楽しんで研究生活を送ってくれることを期待しています。



昨年度の総評と今年度の抱負

塚原 洋子 准教授

昨年度を振り返って

昨年度は、たくさんの皆さんと再開できたりつながりを持つことができた一年でした。3月には、元畜資の佳代ちゃんやみゆきさんに再開、春から始まったヤギの寄生虫対策プロジェクトでは、北海道から沖縄石垣島までのたくさんのヤギ生産農家の皆さんや獣医さんとつながることができました。7月のアメリカ畜産学会では元職場のアメリカヤギ研究所の仲間と再会してヤギプロジェクトの相談をしました。9月の日本畜産学会では、久しぶりの現地開催となり、畜産資源のOBたちが10人以上も集まってさながら同窓会でした。関連研究会の日本山羊研究会、日本緬羊研究会でも懐かしい顔ぶれがそろいました。9月末には、中国で国際ヤギ会議の理事会が開催されて理事会メンバーと7年ぶりとなる再会を果たしました。10月には飛岡先生が畜資を訪問されてお元気な姿を見せてくださいました。また、鹿児島大学時代の恩師、萬田正治先生の自然農法竹子塾を澤田さんと訪問し、稲刈り、馬瀬作り、はざかけ(すべて手作業！)のお手伝いをしてきました。9月から12月までびっしりとムーンショットの実験で目が回りそうでしたが、いずれも楽しい時間でした。そして、何と言っても昨年の最大イベントは廣岡先生の最終講義とお食事会でしたね。先月号にたくさん写真を掲載しましたが、新旧の畜産資源メンバーとの再会(何人かは初めまして)は最高に盛り上がったひと時でした。反省点は、いろいろ欲張りすぎて忙しすぎたことですね。

今年度の抱負

今年度はムーンショット事業第一フェーズの最終年度ということもあり、これまで集積した研究成果をまとめて論文書きに専念したいと思います。また、授業や研究室運営にも関わる立場になったので、こちらもひとつずつ勉強しながら進めたいと思います。学生さんたちの自主性を尊重しながら、楽しい研究室づくりのお手伝いができればいいなと思っています。研究室のヤギたちともども、今年度もよろしくお願いします。



瀬戸口 暁 特定助教

昨年度の総評と今年度の抱負

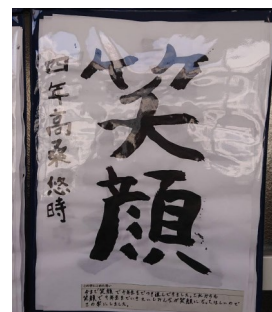
運動不足を感じて2年前からフルマラソンに出るようになりました。昨年度はびわ湖マラソンを完走したものの、京都マラソンよりも1ヶ月遅いことで油断したのか寒さ対策が不十分だったり日頃の練習不足もたたり、後半は歩いてばかりと満足した走りができなかった大会でした。今年度はリングフィットアドベンチャーの力を借りながら年中運動する習慣をつけ、関西だけでなく福岡マラソンや東京マラソンなども選択肢に入れて万全の準備でマラソン大会に臨みたいです。



高桑 亜友美 事務職員

昨年度の総評と今年度の抱負

昨年度は皆さまのお役に立てなかったで、今年度は丁寧で見落としのない仕事を行い貢献できるよう頑張りたいと思っています。食育と飲むことが好きなので、皆さんと一緒できるいいなと思っています。どうぞよろしくお願いします！！



谷牧場へ行ってきました



ゴールデンウィーク中に、熊谷先生、大石先生と3人で南丹市八木町の酪農家 谷牧場さんへ見学に行ってきました。谷牧場さんは、関西ではまだ珍しい搾乳ロボットを導入しているスマート畜産実践農家さんです。きれいに整備された牧場内には、ミルキングパーラーを備えた畜舎と搾乳ロボットを備えた畜舎があり、140頭規模

で乳生産をしていらっしゃるとのことでした。搾乳ロボットの設備では、前回の搾乳から一定時間が経過した乳牛しか待機エリアに入ることができず、濃厚飼料だけを食べてくる個体ははじかれる仕組みになっていました。乳牛にはそれぞれ首にモニターが装着されており、個体情報や行動、歩数などのデータが記録されていました。歩数によって、発情時期や体調の良不良が発見できるそうです。実際に乳牛が搾乳ロボットに入ると扉が閉じて、糞がロボット外に出るように位置調整がされます。そして乳牛が濃厚飼料を食べている間に、前搾り→ミルカー装着(乳頭一本ずつ)→搾乳→ミルカー離脱(空になった乳頭から一本ずつ)→消毒までを自動で行います。濃厚飼料の量は、泌乳量に合わせて調整されています。搾乳後と途中で外れてしまったミルカーは、きちんと洗浄されて収納されました。ただ、乳頭の形が搾乳ロボットに適さない個体もいて、その場合はパーラーに移して搾乳をしているそうです。これからお乳が張ったときの乳頭の形に対する育種がますます重要になりそうですね。搾乳ロボットは24時間365日文句を言わずに働いてくれる一方で、ロボット不具合の対処を覚えなくてはならなかったり(業者を待っていると時間がかかるため)、ちょっとしたエラーがあった場合には携帯に連絡が来るので調整したりという、実際に使ってみないとわからないような問題も教えていただきました。ロボットの導入には大きなコストがかかりますが、人件費を増やさずに搾乳頭数をほぼ倍に増やすことができたそうで、長期的に見ればとてもいい投資だということでした。牧場長の谷さんは、今年10月27日に京都で開催される畜産システム研究会でも講演して下さるとのこと、いろいろお話が聞けそうですね。みんなで京都牛乳を応援しましょう！



搾乳ロボットの待機エリアで順番待ちをする乳牛



自動回転ブラシで背中を搔いて気持ちよさそうな乳牛

(ようこ)

たまたまたべたの？

4月24日にヤギ2頭の去勢手術を行いました。1歳前後のヤギだったので、体も玉も立派です。手術は男には直視できない場面もありましたが無事に終了しました。さて、その日の夜はヤギの金玉パーティーということで飲み会を行いました。ようこさんが持ってきてくれたヤギチーズ、ヤギ汁も食卓に並び、ヤギのフルコースです。肝心のたまたまは刺身と、ネギポン酢、焼肉のたれ焼きでいただきました。まさか人生でヤギの金玉を生で食べることがあるとは... 金玉は不思議なもので断面はなめらかで肌色、ホタテみたいでおいしそうに見えます。味も海鮮系の後味が残り獣臭はありません。ヤギ汁は口に入れた瞬間、畜舎のにおいが口に広がり僕は苦手でした。



そんなこんな言いながら4個のたまたまを完食しました。ヤギさんごちそうさまでした。(プクプク)





Laboratory of Animal Husbandry
Resources

Faculty of Agriculture,
Kyoto University,
Kitashirakawa-Oiwakecho,
Sakyo-ku, Kyoto 606-8502, Japan

TEL: 075(753)6365

FAX: 075(753)6365

<http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/>

GOAT BULLETIN



畜産資源学研究室

GOAT BULLETINは、皆様の投稿記事で成り立っています。形式・文字数は問いません。また、読者の方々からのご意見やお問い合わせも大歓迎です。下記のアドレスまでどしどし送信してください。

tsukahara.yoko.8v@kyoto-u.ac.jp

お知らせ

今月のゼミ

5月7日田中(4回生演習)山田(文献紹介)、5月14日入船・澤田(文献紹介)、5月21日蔡・菊池(文献紹介)、5月28日江川(総説)・寺田(研究報告)

今月のお誕生日会

今月のお誕生日さんは、パズー壮太郎です。ケーキのリクエストはフルーツ系のケーキだそうです♪お楽しみに～

研究室訪問

ゴールデンウィークを利用して、今年の畜産資源修了生の中村くんが遊びに来てくれました。霞が関での仕事の様子や引っ越し先での生活についてのお土産話をたくさん持ってきてくれました。休日出勤していた江川くんと一緒に好み焼きの「くいしんぼ」に行ってきました。相変わらず安くておいしいお店です。畜資OBが帰ってきてくれるのは、いつも嬉しいです。皆様お待ちしております～(^_^)



May 2024

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
4/28	29	30 畜資演習	5/1	2	3	4 ヤギ当番(午前: 蔡、午後: 菊池)
5 ヤギ当番(山田)	6 ヤギ当番(蔡)	7 畜資演習	8 ヒツジの毛刈り	9 ヒツジの毛刈り	10	11 ヤギ当番(岩井)
12 ヤギ当番(入船)	13	14 畜資演習	15	16 はくび会ソフトボール大会(畜資vs.育種)	17	18 ヤギ当番(田中)
19 ヤギ当番(澤田)	20	21 畜資演習	22	23	24	25 ヤギ当番(江川)
26 ヤギ当番(菊池)	27	28 畜資演習	29	30	31	